

特 別 決 議

米朝首脳会談が確認した朝鮮半島非核化への前進を期待する

米国のドナルド・トランプ大統領と北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の金正恩国務委員長が、2018年6月12日、シンガポールで米朝首脳会談を行いました。

共同声明で、トランプ大統領は「北朝鮮に安全の保障を提供することを約束」し、金委員長は「朝鮮半島の完全な非核化への確固として揺るぎのない約束」を表明しました。トランプ大統領と金委員長は「新たな米朝関係の樹立が朝鮮半島と世界の平和と繁栄に寄与すると確信し」、次の4つをあげています。

1. 米国と北朝鮮は、両国民が平和と繁栄を切望していることに応じ、新たな米朝関係を樹立することを約束する。
2. 米国と北朝鮮は朝鮮半島において持続的で安定した平和体制を構築するために共に努力する。
3. 2018年4月27日の板門店宣言を再確認し、北朝鮮は朝鮮半島の完全な非核化に向けて努力することを約束する。
4. 米国と北朝鮮は身元特定済み遺骨の即時送還を含め、捕虜や行方不明兵の遺骨収集を約束する。

米朝首脳共同声明は、非核化と平和体制構築へのスタートを表明するものです。今後、非核化、平和体制を実現するには具体的な努力が必要です。昨年7月7日、国連のもとで採択された核兵器禁止条約について、両国とも賛成していません。朝鮮半島非核化と核兵器禁止条約は合致するものです。両国が条約に賛同し、批准するよう被爆者は呼びかけます。同時に唯一の戦争被爆国日本が朝鮮半島の非核化に呼応して核兵器禁止条約に賛同、批准し、核兵器のない世界へ前進する大きな役割を果たすことを願い、被爆者は努力を惜しまないことを表明します。

2018年6月14日

日本原水爆被害者団体協議会第63回定期総会